

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	理 科			
教 科	理 科	時間数	4時間	学年・コース
使用教科書	未来ひろがるサイエンス 3（啓林館）			
副教材等	ワーク 理科 中2（啓林館準拠版）			

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①アクティブラーニングを取り入れ、生徒自ら学び考えようとする意欲を高める。
 ②知識の蓄積と情報交換力の向上を目指し、学習内容のインプットとアウトプットを生徒間で行う。
 ③知識の整理整頓と、問題に直面したときの打開案を発想できるようにする。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	生命の連続性 生命のふえ方と成長 遺伝の規則性と遺伝子		10月	電池とイオン 酸・アルカリと塩	第2学期中間考査
5月	生物の種類の 多様性と進化	第1学期中間考査	11月	運動とエネルギー 力の合成と分解 物体の運動 仕事とエネルギー	
6月	宇宙を観る 宇宙の天体		12月	多様なエネルギーと その移り変わり	第2学期期末考査
7月	太陽と恒星の動き		1月	エネルギー資源と その利用	
8月	月と金星の動きと 見え方	第1学期期末考査	2月	自然と人間 自然界のつり合い さまざまな物質の 利用と人間 科学技術の発展 人間と環境	
9月	化学変化とイオン 水溶液とイオン		3月	持続可能な 社会をめざして	第3学期期末考査

3. 学習評価について（観点・評価場面設定・年度末評定）

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [定期考査・小テスト・レポート 等]
 ② 思考・判断・表現 [定期考査・小テスト・レポート・発表・グループワーク 等]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [小テスト・提出物・発表・グループワーク 等]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します